

部署紹介

学修・教育開発センター



○業務について

私たちのセンターでは、教員の授業方法をより向上させるための取り組み（FD、ファカルティ・ディベロップメント）や、FDの取り組み結果を客観的に把握するための調査活動（IR）を推進しています。また、大学教職員の専門性を高めるための取り組み（SD、スタッフ・ディベロップメント）を人事課と連携して推進しています。

具体的には、以下の内容が挙げられます。

- ・授業アンケート、学生調査、アセスメントテスト
- ・アクティブラーニングの研修会
- ・e-Learning 利用のサポート
- ・自校教育科目の運営
- ・シラバスの改善
- ・ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーの改訂
- ・関連委員会の運営
- ・活動広報

さらに、学生たちが学内で主体的に活動できる場を用意し、学生自身が自分たちの大学をよりよくしていくため、「学生によるFD活動のサポート」を開始しました。

そのほか、SDの取り組みとしては、教育改善に直結する「内部質保証」に関わる内容をテーマとした研修を、年間計画のもと実施しています。

いずれも全学的な取り組みであり、日頃から各学科・各事務部署、教職員一人一人と協働して業務にあたっています。

昨今、大学を取り巻く環境が大きく変わりつつあり、大学には改革が求められています。社会の変化に目を向けながら、東京家政大学が実践する教育のかたちを絶えず更新する役割を私たちは担っています。

○応募者へのアドバイス

私たちの部署のように、年間のルーティンには収まらない業務がほとんどという部署では、課題を発見し、新たな企画を考案し、計画的に遂行していく力が求められます。

また、教職員が共通してもつ究極の目標は、東京家政大学の学生たちの「自主自律」の学びを支え促すこと、卒業後に「自主自律」の道を歩み続ける礎を在学中に築くお手伝いをする、といえます。この目標のもと、これまで培った経験を教育現場で活かしたいという熱意を、応募者の方々はぜひアピールしてください。